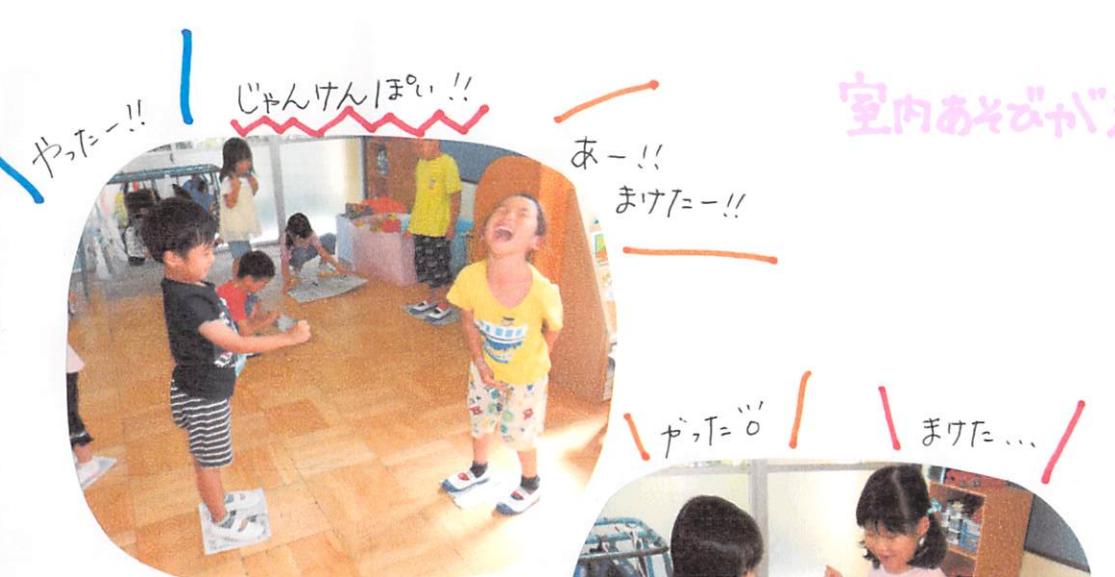


R6.9月.22. No1

## 室内遊びが充実



R6.9月. つま2. No2



2学期は「室内遊び」=変化や「見られました」と「みんなで」新聞紙を作成してソーシャルな遊びを楽しむ。室内ゲームの時間も多くなりました。ゲームでは対決を楽しむことはなく、お友だちを応援する等や、お友だちはアドバイスするなど「自分のこと」「自然」とお友だちの方に目がいくようになります。もちろん他の誰なの?はないかと思います。

今までの室内遊びの率は少しあそん="うわじまい"という遊びが多かったり"すかべ"2学期に入ると遊びには村山で  
薦め中にはなる率だ"ケイ"ではなく繰り返しあそぶ"率や、日々をまたいで"数日かけて製作するなど"の変化が"あります。  
また室内遊びや"増えた"ことで"子ども同士の会話が"増えたり、自分の遊びだ"ケイ"ではなくお友だ"ちや"  
したり"遊びに興味を持つと「入れて!」と参加する率が見られました。  
このような率から「これはどうして? なぜ?」など子どもたち自身で"遊びを充実させようとしているのか"を感じます。  
感じました。

あそびや充実していくなかで、時には伝え難いや、意見や合意など子どもの心の発達を  
あそび=上手くいかないから諦めるとではなくどうしてうらやましく、どうしてうれしくあそべるかなど  
自然のあそびの中でを考えたりや相手を思いや気持ちが育まれていこうのだを感じることや「まじ」。  
子どもたちはと、大切なおそびの時間や充実する環境作りと今回振り返り、そして今の子どものじの  
育ちを改めて見つけることや「まじ」/10月から引き続き見守り、いきたいと思います。